

# むらまち通信

第125号

2013年7月29日 発行



## 「サクランボの整理作業」を実施しました。



### ○ 実施状況

- ・ 日 時：平成25年7月28日（日） 10:00～
- ・ 実施会場：砥山ふれあい果樹園
- ・ 主 催：八剣山発見隊
- ・ 参 加 者：14名
- ・ 実施内容：腐れやカビの生えたサクランボの収穫  
持ち帰り用の完熟サクランボ収穫

八剣山周辺における今年のサクランボは、花が5月下旬と例年よりも遅かったことから、サクランボ狩りも7月中旬に入ってから果樹園が多かったようです。でもシーズン中は雨が降らなかったため雨で割れたり腐れたりしたサクランボも少なく、たくさんの市民がこの地域の果樹園に訪れました。

砥山ふれあい果樹園でも、休日には家族連れや団体のお客さんが大勢来場し、例年よりも木に残っているサクランボはかなり少なくなっていました。

サクランボ狩りのシーズンも終了に近づいて、熟しすぎて腐ったりカビが生えた実も目立ってきました。それらの実を整理することで、来年のサクランボの生育時に病気やカビによる悪影響を防ぐため、残っている実を収穫することとなりました。収穫した中でまだ食べられる実は、整理作業のお礼として各自が持ち帰ることとなりました。

今回の事業担当の紺谷さん及び園主の瀬戸さんの挨拶の後、参加者の皆さんは脚立を抱えてサクランボの林に入っていました。駐車場からはそれほど見えなかったサクランボも、木の下から見上げるとまだかなり着いていました。

脚立で上がると着いている実でも、腐ったり、カビが生えたり、干からびている実もけっこうありましたが、甘さが凝縮されて赤黒くなった完熟の実も残っていました。それらを2つの袋を持って分けながら収穫したところです。

およそ2時間半ほどの作業時間でしたが、腐れたりカビの生えたサクランボは、コンテナに1箱半ほどになったほか、お持ち帰り用のサクランボもたくさん収穫することができ、参加した皆さんは疲れも見せず笑顔にあふれていました。



木の上での収穫作業



収穫した腐れたサクランボ



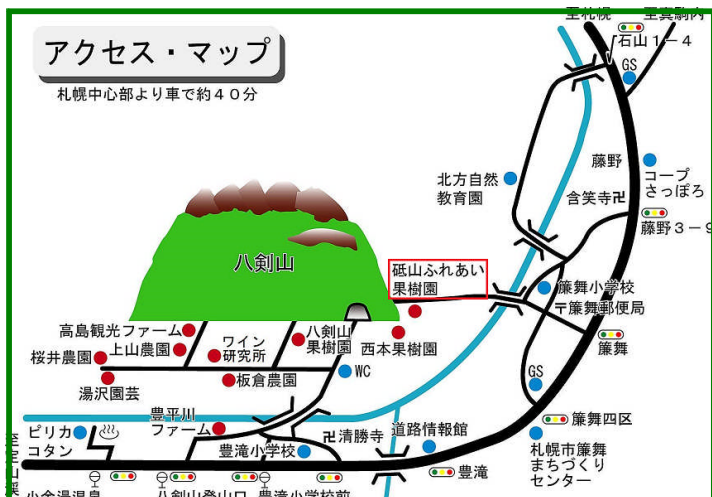
収穫したサクランボと参加した皆さん



参加者への事前説明



木の上に残るサクランボ



発行：塚本むらまち計画研究室  
主 宰 塚 本 保 弘

061-1276  
北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10  
携帯電話：090-7515-7057  
E-mail：thuka@rose.ocn.ne.jp